



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。

 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階
交通環境対策部 TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294

2024年度

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

目次

- エコドライブ活動コンクールとは 1
- コンクール概要 2
- 募集結果 3
- 表彰式 4
- 受賞者一覧 (大臣賞・審査委員長特別賞・優秀賞)
- エコドライブ優秀活動認定事業者一覧 5
- 優良受賞事業者一覧
- エコドライブ優良活動認定事業者一覧 6
- 二次審査応募事業者一覧 7
- 大臣賞受賞事業者の取組事例紹介
- 国土交通大臣賞 (事業部門)
- 上越運送株式会社 8
- 環境大臣賞 (一般部門)
- 株式会社利根川産業 10
- 審査委員長特別賞・優秀賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介
- 審査委員長特別賞 (支援ビジネス・ユニーク部門)・優秀賞 (一般部門)
- 沖縄トヨタ自動車株式会社「燃費王～FUN TO ECO DRIVE～」 12
- 上位受賞事業者の取組事例紹介
- 優秀賞 (事業部門)
- SBS三愛ロジスティクス株式会社物流センター宮城第二 14
- F-LINE株式会社栃木物流センター 16
- 石原運輸株式会社 18
- 西濃運輸株式会社 20
- 優秀賞 (一般部門)
- さいたま市役所 22
- エコドライブ活動の応用取組 24
- 上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介 25

エコドライブ活動コンクールとは

◎全国的なエコドライブ活動のコンクールを開催！

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。

この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組みを行っている事業者などを表彰し、その取組・製品を紹介することで更なる普及を図っています。



◎エコドライブ活動コンクールは燃費を競い合うもの？

違います!!

本コンクールは、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動について取組内容を幅広い観点から審査するコンクールです。

優れたエコドライブ活動の事例を集めて紹介していますので、更なるエコドライブ活動の推進に役立ててください。

参加のメリットは？

● 社内のモチベーションアップ・活性化につながります

コンクールへの参加という具体的な共通目標を設定し、組織で取組むことが社員の意識向上につながります。

● エコドライブ推進の支援ツールが手に入ります

コンクールに参加することでエコドライブポスターやチラシ、参加登録証明書や優秀取組事例集など、活動を盛り上げるための様々なツールが手に入ります。

● 自社の活動レベルを客観的に評価できます

多くの事業者の中でどのレベルに位置しているのか客観的な評価を受けることができ、活動の更なるレベルアップにつながります。



審査項目	極めて優秀	優秀	標準	不十分
(1) 取組体制の整備		●		
(2) 教育の実施			●	
(3) 燃費管理	●			
(4) 活動成果		●	●	
(5) 継続実績と方策		●		
総合結果		●		

コンクール概要

- 主催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 後援：「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

「エコドライブ普及推進協議会」

(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(公社)日本バス協会、(一社)日本自動車連盟、(公社)全日本トラック協会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国レンタカー協会、(一財)環境優良車普及機構、(一社)日本自動車運行管理協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

● 募集対象

事業部門(緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
支援ビジネス・ユニーク部門	メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。運輸事業部門での脱炭素(カーボンニュートラル)に向けた実施策など。(例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど)さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。(例 SDGs とコラボレーションしたエコドライブの取組みなど)

- スケジュール：応募期間 2024年5月7日(火)～7月9日(火)
表彰式 2024年11月22日(金)開催の「2024年度エコドライブシンポジウム」の中で表彰

- 審査：審査は審査委員会(審査委員長:大聖 泰弘 早稲田大学名誉教授)にて実施

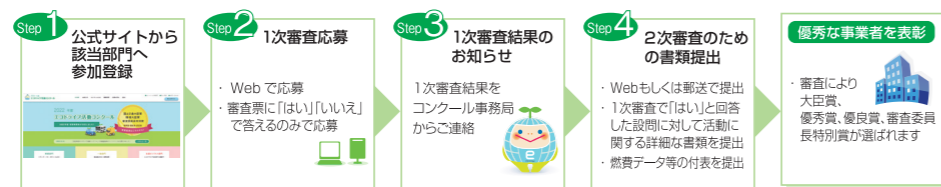
1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

※ただし、支援ビジネス・ユニーク部門は上記審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取組を評価します。

- 表彰：国土交通大臣賞(事業部門) 1件
環境大臣賞(一般部門) 1件
審査委員長特別賞(支援ビジネス・ユニーク部門) 1件
優秀賞(事業部門・一般部門) 6件
優良賞(事業部門・一般部門) 22件

- 応募費用：無料

- コンクールの流れ



募集結果

● 参加数

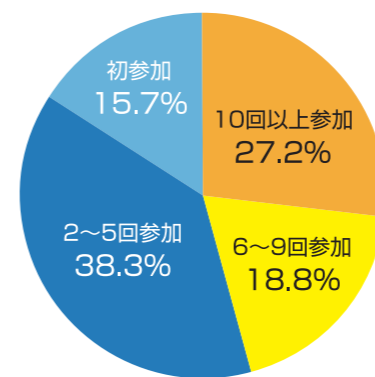
全部門

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
一次審査	348	1,759	82,452	42,223
二次審査	190	747	55,973	27,012

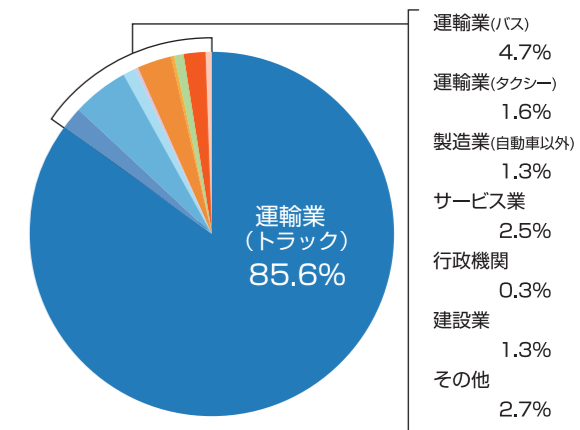
部門別

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
事業部門	317	833	42,914	29,284
一般部門	28	370	26,522	4,869
支援ビジネス・ユニーク部門	4	611	14,121	9,175

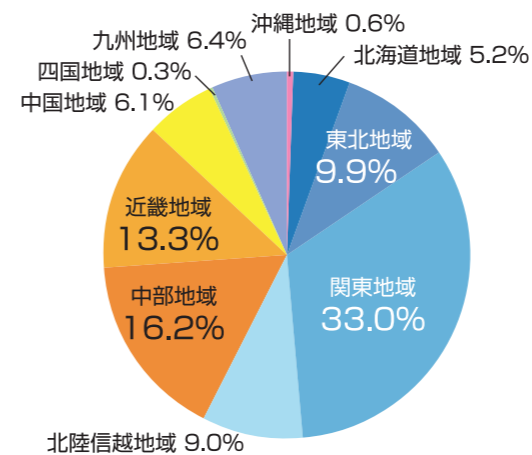
● 新規・継続応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



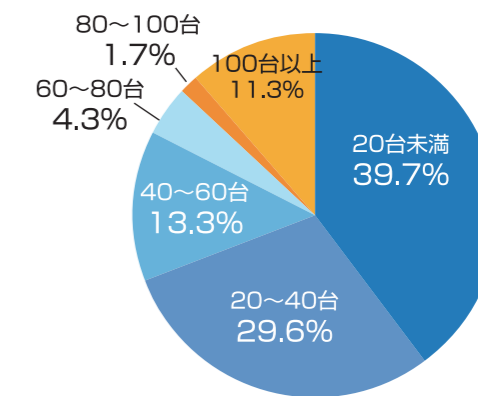
● 業種別応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



● 地域別応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



● 車両台数別応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



表彰式

「2024年度エコドライブシンポジウム」にて、表彰式を行いました。

日時：2024年11月22日(金) 13:30～16:05
 場所：千代田区立内幸町ホール(東京都千代田区)



前列左より(敬称略)
 早稲田大学 大聖名誉教授、環境省 水・大気環境局 平澤モビリティ環境対策課長、(株)利根川産業 利根川取締役部長、上越運送(株) 小関代表取締役、国土交通省 大野総合政策局長次、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 岩村会長

後列左より
 沖縄トヨタ自動車(株) 根間常務執行役員、さいたま市役所 馬上環境対策課長、西濃運輸(株) 田口副社長執行役員、F-LINE(株) 北関東支店 吉濱支店長、沖縄トヨタ自動車(株) 崎原代表取締役副社長、石原運輸(株) 石原代表取締役、SBS三愛ロジスティクス(株) 物流センター宮城第二 柴田所長



表彰式(国土交通大臣賞)



表彰式(環境大臣賞)



審査講評



上越運送(株) 取組紹介



(株)利根川産業 取組紹介



記念楯

受賞者一覧

グリーン経営認定取得事業者(2024年11月15日時点)

国土交通大臣賞

事業部門

上越運送株式会社 新潟県

環境大臣賞

一般部門

株式会社利根川産業 東京都

審査委員長特別賞・優秀賞

支援ビジネス・ユニーク部門

一般部門

沖縄トヨタ自動車株式会社 沖縄県

優秀賞

(都道府県順)

事業部門

SBS三愛ロジスティクス株式会社 物流センター宮城第二 宮城県

F-LINE株式会社 栃木物流センター 栃木県

一般部門

石原運輸株式会社 栃木県

西濃運輸株式会社 岐阜県

一般部門

さいたま市役所 埼玉県

エコドライブ優秀活動認定事業者一覧

(都道府県順)

表彰規定により、より上位の賞でなければ連続して受賞できない事業者で、優秀賞相当の取組を継続していると評価された事業者を認定するものです。



事業部門

- SBS三愛ロジスティクス株式会社 山形営業所 山形県
- 磐城通運株式会社 福島県
- 有限会社古川商事運輸 本社営業所 東京都
- 株式会社ロジバルエクスプレス 東京都
- 新潟陸運株式会社 新潟県
- 南信州広域タクシー有限公司 長野県
- 東和通商株式会社 静岡県
- 株式会社中田商事 三重県
- 有限会社裕進運輸 三重県
- 南海バス株式会社 井高野営業所 大阪府

一般部門

- ネットトヨタ山形株式会社 山形県
- 株式会社日産フィナンシャルサービス 千葉県
- 株式会社エコワスプラント 東京都
- DINS関西株式会社 大阪府
- シスメックス株式会社 兵庫県

優良受賞事業者一覧

(都道府県順)



優良賞

(都道府県順)

事業部門

SBS三愛ロジスティクス株式会社 北海道支店 札幌営業所 輸配送係	北海道	福岡トランス株式会社 福井営業所	福井県
株式会社エネックス 北海道支店	北海道	平沢運輸株式会社 竜王営業所	山梨県
花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所	北海道	株式会社エネックス 大井川営業所	静岡県
北海道フーズ輸送株式会社 旭川第3物流センター	北海道	株式会社エネックス 中部支店	愛知県
株式会社トレンディ茨城 本社営業所	茨城県	有限会社クリヤー梱包 本社営業所	愛知県
有限会社美松運送 本社営業所	群馬県	株式会社ケン・トップカーゴ 本社営業所	滋賀県
花王ロジスティクス株式会社 沼南営業所	千葉県	菱華運輸株式会社 本社	兵庫県
国際自動車株式会社T2 三鷹営業所	東京都	花王ロジスティクス株式会社 坂出営業所	香川県
東京共同ロジテム株式会社 本社営業所	東京都	福岡トランス株式会社 新門司営業所	福岡県
株式会社タカキ物流サービス 秦野営業所	神奈川県	福岡トランス株式会社 福岡営業所	福岡県
株式会社第一製品流通 本社	新潟県	内外運輸株式会社 業務管理部 西原営業所	沖縄県

エコドライブ優良活動認定事業者一覧

(都道府県順)

昨年度のエコドライブ活動コンクールにて優良賞以上を受賞し、今年度も同水準を継続している事業所および一定レベル以上の活動をしていると評価された事業所を認定するものです。



事業部門

北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店	北海道	株式会社INPEXロジスティクス 本社営業所	新潟県
株式会社丸連トランスポート札幌 本社	北海道	株式会社エネックス 新潟支店	新潟県
株式会社エネックス 東北支店 青森営業所	青森県	星崎運輸株式会社 富山営業所	富山県
株式会社タムラ	福島県	星崎運輸株式会社 金沢支店	石川県
SBS三愛ロジスティクス株式会社 北関東支店 茨城営業所	茨城県	株式会社 マーリス	静岡県
株式会社エネックス 関東LNG支店 茨城営業所	茨城県	松葉倉庫運輸株式会社 本社営業所	静岡県
ケールサービス東日本株式会社 茨城営業所	茨城県	株式会社オーエムトランス 本社営業所	愛知県
株式会社吉澤運送	茨城県	太陽運輸株式会社 長浜営業所	滋賀県
F-LINE株式会社 尾島物流センター	群馬県	花王ロジスティクス株式会社 堺営業所	大阪府
F-LINE株式会社 久喜物流センター	埼玉県	福岡トランス株式会社 大阪営業所	大阪府
F-LINE株式会社 三郷物流センター	埼玉県	株式会社福田物流 本社営業所	大阪府
花王ロジスティクス株式会社 岩槻営業所	埼玉県	株式会社ヤマガタ 大阪営業所	大阪府
青翔運輸株式会社 本社営業所	埼玉県	株式会社エネックス 西日本支店 姫路営業所	兵庫県
株式会社東配 本社営業所	埼玉県	株式会社エネックス 西日本支店 水島営業所	岡山県
SBSリコーロジスティクス株式会社 輸配送二課	東京都	日の丸タクシー株式会社 本社営業所	岡山県
SBフレームワークス株式会社	東京都	今井運送株式会社	広島県
花王ロジスティクス株式会社 八王子営業所	東京都	花王ロジスティクス株式会社 広島営業所	広島県
小林運輸株式会社 本社営業所	神奈川県	福岡トランス株式会社 福岡ソリューションセンター	福岡県
株式会社タカセ運輸集配システム	神奈川県		
平沢運輸株式会社 磯子営業所	神奈川県	一般部門	
		久屋産業株式会社	福岡県

二次審査応募事業者一覧

(都道府県順)

事業部門

株式会社エネックス 苫小牧営業所	北海道	SBSリコーロジスティクス株式会社 東静岡支店 輸送課	静岡県
株式会社エネックス 北海道支店 石狩営業所	北海道	野島運送株式会社	静岡県
幸楽輸送株式会社 札幌事業部 札幌営業部 輸送課	北海道	SBS三愛ロジスティクス株式会社 名古屋支店 マシン物流課	愛知県
札幌第一観光バス株式会社 本社営業所	北海道	株式会社アスラック	愛知県
北海道中央バス株式会社	北海道	エムケー物流株式会社 藤岡本社	愛知県
SBS三愛ロジスティクス株式会社 南東北支店 東北営業所	宮城県	株式会社大杉運輸 本社営業所	愛知県
株式会社エネックス 東北支店	宮城県	花王ロジスティクス株式会社 稲沢営業所	愛知県
花王ロジスティクス株式会社 仙台営業所	宮城県	共同輸送株式会社 中京物流センター	愛知県
ケールサービス東日本株式会社 仙台営業所	宮城県	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 東海セールスセンター 東海車庫	愛知県
株式会社エネックス 秋田支店	秋田県	東洋メビウス株式会社 豊橋支店	愛知県
第一貨物株式会社 秋田支店	秋田県	平野商運株式会社 本社営業所	愛知県
株式会社エネックス 秋田支店 庄内営業所	山形県	株式会社エネックス 四日市営業所	三重県
若林運送株式会社 小名浜営業所	福島県	多貴商運株式会社 本社	三重県
有限会社伊藤運輸	茨城県	中川運輸株式会社 本社	三重県
SBS三愛ロジスティクス株式会社 栃木営業所	栃木県	滋賀観光バス株式会社 甲西営業所	滋賀県
平沢運輸株式会社 石橋営業所	栃木県	滋賀観光バス株式会社 長浜営業所	滋賀県
フジトランスポート株式会社 栃木支店	栃木県	滋賀観光バス株式会社 守山営業所	滋賀県
有限会社新利根流通 本社営業所	群馬県	滋賀観光バス株式会社 八日市営業所	滋賀県
株式会社エスティシステム 草加営業所	埼玉県	株式会社ハロー・ネットワーク滋賀	滋賀県
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 埼玉車庫	埼玉県	滋賀観光バス株式会社 京都営業所	京都府
株式会社小嶋衛生社	埼玉県	直販配送株式会社 物流事業部 京都支店	京都府
光和輸送株式会社 本社営業所	埼玉県	中倉陸運株式会社 城南営業所	京都府
株式会社エネックス 関東LNG支店 袖ヶ浦営業所	千葉県	ユニオン株式会社	京都府
株式会社エネックス 関東支店	千葉県	SBS三愛ロジスティクス 物流センター 関西	大阪府
直販配送株式会社 共配事業部 房総センター	千葉県	扇町運送株式会社 本社	大阪府
株式会社丸連トランスポート東日本 千葉支店 市原営業所	千葉県	関空運輸株式会社 リンくう営業所	大阪府
株式会社エネックス 関東支店 八王子営業所	東京都	滋賀観光バス株式会社 大阪営業所	大阪府
ケールサービス東日本株式会社 東京東営業所	東京都	千里山バス株式会社 本社営業所	大阪府
株式会社ニヤクコーポレーション オペレーション統括グループ	東京都	共伸商事株式会社 本社営業所	大阪府
GBtechnology株式会社 川崎Office	神奈川県	ニシリック株式会社 本社	大阪府
SBSリコーロジスティクス株式会社 物流センター 厚木	神奈川県	株式会社藤急エクスプレス 本社	大阪府
上野輸送株式会社 本社	神奈川県	石見サービス株式会社	兵庫県
株式会社日新陸運 本社営業所	神奈川県	花王ロジスティクス株式会社 尼崎営業所	兵庫県
株式会社エネックス 関東支店 川崎営業所	神奈川県	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	兵庫県
株式会社エネックス 関東LNG支店 磯子営業所	神奈川県	花王ロジスティクス株式会社 岡山営業所	岡山県
ケールサービス東日本株式会社 湘南営業所	神奈川県	陸照運輸株式会社 水島営業所	岡山県
ケールサービス東日本株式会社 横浜営業所	神奈川県	明和運送株式会社	広島県
国際自動車株式会社横浜 横浜本社営業所	神奈川県	SBS三愛ロジスティクス株式会社 九州事業部 福岡支店 豊田営業所	福岡県
株式会社パル横浜 横浜営業所	神奈川県	株式会社エネックス 西日本支店 九州営業所	福岡県
株式会社エネックス 上越営業所	新潟県	花王ロジスティクス株式会社 福岡北営業所	福岡県
花王ロジスティクス株式会社 新潟営業所	新潟県	株式会社サンエストラテック 北九州事業所	福岡県
第三貨物自動車株式会社 本社営業所	新潟県	株式会社サンエストラテック 福岡事業所	福岡県
東西運輸株式会社 東港営業所	新潟県	有限会社堀兄弟運送	福岡県
マルソー株式会社 三条営業所	新潟県	松藤グループ 松藤商事株式会社	福岡県
ののいちバス株式会社 本社営業所	石川県	SBS三愛ロジスティクス株式会社 九州支社 九州中央支店	佐賀県
敦賀観光バス株式会社 本社営業所	福井県	株式会社サンエストラテック 大分営業所	大分県
株式会社コーエイ 流通団地営業所	山梨県	株式会社中津急行 本社営業所	大分県
花王ロジスティクス株式会社 更埴営業所	長野県	南国輸送株式会社 鹿児島石油営業所	鹿児島県

一般部門

株式会社ビクトリー	埼玉県	清水長金属工業株式会社	京都府
(一社)日本自動車販売協会連合会東京支部	東京都	株式会社木村衛生 大正事業所	大阪府
コモン計装株式会社	東京都	株式会社スカット 本社・大正リサイクル工場	大阪府
久光製薬株式会社	東京都	フジトランスポート株式会社 安全統括部	奈良県
株式会社山村組	愛知県	株式会社メディクリーン	福岡県

大臣賞受賞事業者の取組事例紹介



上越運送株式会社

所在地：新潟県上越市頸城区西福島440-1
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：5
 従業員数：142名
 車両数：120台
 活動実績：21年



20年以上にわたるエコドライブ活動と継続的な取組内容の革新

2003年よりエコドライブ活動を開始し、2004年から現在までグリーン経営認証の取得を継続。永年登録事業所表彰(20年)。
 ドライバーの意見から発想を得た独自の取組を小規模営業所で実験的に行うなど、**更なる燃費改善のための方法を日々模索**。効果がみられる取組は全営業所に取り入れるなど、常に取組内容のアップデートを行う。

エコドライブ活動の成果

2002年度比

**16%燃費向上
(大型ディーゼル)
無事故継続
(重大事故)**

受賞事業者の声

エコドライブ活動を継続して22年。従業員が一丸となり継続してきた評価として「国土交通大臣賞」という最高の賞をいただいたことに感謝申し上げますとともに荣誉ある賞に恥じぬよう一層精進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	経営トップによる「環境方針」を掲げ、全従業員へ周知を徹底	エコドライブ推進のため、複数の組織体制を整備
	組織・体制		
	目標・計画 周知・説明 点検・整備	・年間の環境保全活動計画を策定 ・エコドライブ活動目標及び計画を各部署内の掲示板に掲示 ・支店ごとに環境保全整備管理者を選任し、車両管理体制を定める	
教育の実施	環境問題	・新聞記事やグリーン経営ニュースを基に社内誌を作成し、啓発	講師としてディーラーを招き「エコドライブ実技講習会」を実施
	教育計画		
	教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	・最新の環境法令をまとめ、教育資料として活用 ・講習後は感想文を提出し、次回の講習内容改善に活用 ・中部トラック研修センター等へ累計70名以上を派遣 ・事務員等を対象としたエコドライブ研修会を開催	
燃費管理	燃費目標	・昨年の燃費実績を基に環境保全活動委員会にて目標を設定	前年対比の節約金額を算出し、社内に周知
	燃費管理	・走行管理表に給油量を記載し、燃費を集計	
	燃費分析		
活動成果	教育活用 過去履歴	・運転手ごとに前年との燃費比較グラフを作成 ・2003年から現在までの燃費データを管理	二酸化炭素排出量グラフとアイドリング率を掲示
	燃費向上	・2002年度比で、16%燃費向上(大型ディーゼル)	
	事故管理	・2003年から各支店別の事故発生状況を管理	
継続実績と方策	成果の周知		グリーン経営認証永年表彰
	対外活動 社員評価	・グループ会社にて講師として、エコドライブの普及に取り組む ・デジタコ運転日報データを確認し、優秀な運転手を表彰	
	活動実績 活動見直し 独自工夫	・2003年より活動開始 ・内部監査の評価に基づき、次年度の計画を策定 ・充電式扇風機の全車両配備	
	認証登録	エコカー等	
		・エアヒーター・蓄熱マット・アイドリングストップクーラー等を導入	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

トップダウンとボトムアップが両立した取組体制の整備

エコドライブ活動における責任者や権限の明確化

環境保全推進責任者を中心に管理職が主導する「環境管理推進委員会」が設置されている。この委員会は、会社全体の環境方針を策定し実施している。

また、各部署および支店から選ばれた運転手代表によって構成される「環境保全活動委員会」があり、実際の現場からの意見を反映した活動が行われている。さらに、各支店には「環境保全分科会」が設けられ、地域特性に合わせた取り組みを推進責任者が主体として進めている。



活動継続のための取組体制

教育の実施

評価ポイント

多方面からの情報を記載した社内誌の展開

オリジナル資料を用いた教育の実施

様々な情報源から収集したデータを基にオリジナル資料を作成しており、それを教育資料として活用している。

毎月、環境法令の更新情報や燃費データを含む社内誌を作成し、これを通じて社員に最新の環境知識を提供している。この取組は、社員の環境意識の向上だけでなく、業務の効率化も目指している。

教育プログラムを通じて、社員のスキルを向上させ、持続可能な業務運営を実現することを目的としており、これが組織全体の質の向上に寄与している。



せいふていえこにゆうす

燃費管理

評価ポイント

データ活用と多角的な分析

多分類での燃費データの集計

燃費データを運転手別、車両別、車種別、メーカー・エンジン型式別、排気ガス識別記号別といった多様なカテゴリーに分類しており、各支店の平均燃費を集計している。

このような分類と集計により、燃費の差異を詳細に把握し、運用改善策を検討することが可能となっている。これは、燃費効率の向上と環境負荷の低減を目指すための重要な基盤であり、持続可能な運送業務の実現に貢献している。



燃費グラフ

継続実績と方策

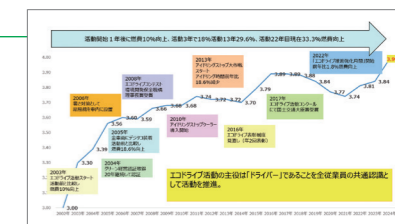
評価ポイント

更なる燃費改善に向けた工夫と実験

さらなる燃費向上を目指した工夫と独自取組

荷主に対して全線の高速化を交渉しており、現状での承諾件数は数件に留まっているが、この取組が実現すれば、輸送効率の向上が期待される。

また、車両台数が少ない事業所では、従来のスタッドレスタイヤを履き潰す方法から転換し、夏タイヤの使用を実験的に始めており、燃費改善の効果が見られている。このように、燃費効率の更なる向上を目指し、積極的に新たな取組を行っている。



工夫と独自取組



株式会社利根川産業

所在地：東京都足立区入谷8-3-8
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：109名
 車両数：27台
 活動実績：13年



収集運搬システムや業務支援ツールの活用による効率的なエコドライブと安全運転

2011年よりエコドライブ活動を開始し、業務支援ツールを活用することで業務の効率化や従業員とのコミュニケーションを円滑にする工夫を凝らす。

GPS搭載タブレットの収集運搬システムにて走行軌道の可視化をすることで、効率的なルートを選択が可能となり、移動時間の短縮と燃料消費の最適化を図る。

今年は「エコドライブ=安全」をテーマとし、安全運転を意識することでエコドライブが自然と身につく、環境と安全の両面での成果が見られた。

エコドライブ活動の成果

2014年度比

5%燃費向上
(全車)
事故件数-
(保険適応)

受賞事業者の声

この度は環境大臣賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。エコドライブの取組は、燃費向上やCO₂削減だけでなく、安全運転の意識向上にもつながる大切な活動です。この受賞を励みに、これからも社員一丸となり、環境保護と交通安全に貢献できる企業を目指して努力を続けてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	年間平均燃費3%向上・重大事故0運動・車両修繕費削減を柱に活動	バック車と箱車それぞれの車両チェック表を作成、kintone内アプリで管理
	体制・目標	業務部 収集運搬部門が推進組織として活動	
教育の実施	環境問題	エンジンストップポスターを洗車場に掲示	LINEWORKSにてドライバーへ研修情報を通知
	教育資料	エコドライブ10のすすめなどを教育資料として配布	
燃費管理	燃費管理	燃費管理責任者を定め、車両燃費基準を設定	前年実績も合わせてkintoneにて運営・管理
	燃費目標		
活動成果	燃費向上	2011年度比で、5.2%向上	2011年度比で、5.2%向上
	事故管理	kintoneにて、事故推移・発生事故内容・金額などを管理	
継続実績と方策	活動実績	2011年より活動開始	社内表彰制度(エコドライブランキング)を導入
	エコカー等	デジタルタコグラフを使用	
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組

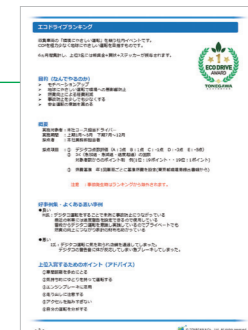
取組体制の整備

評価ポイント

社員のモチベーション向上を促す社内イベントの開催

エコドライブランキングの実施

CO₂排出量を減らす目的で始められた「環境にやさしい運転」を競う社内イベントでは、6か月間にわたり燃費データを集計し、成績が優秀な上位3名には報奨金と賞状、環境保護を象徴するステッカーが授与される。このイベントは、社員による日常の運転習慣の改善を促すとともに、エコドライブの重要性を浸透させることで、企業全体の環境保全意識を高める効果がある。参加者は、CO₂排出の削減だけでなく、燃料消費の効率化にも貢献し、持続可能な運輸業務の実現に向けた実践的なステップを踏んでいる。



エコドライブランキング

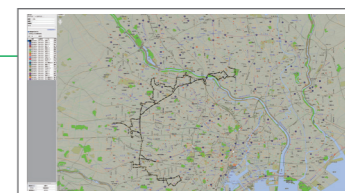
活動成果

評価ポイント

走行ルートの最適化による消費燃料の最適化

収集運搬システムの活用による行動の最適化

GPS搭載タブレットを用いた収集運搬システムを導入し、走行軌跡の可視化とルートの最適化を行っている。このシステムにより、運転ルートが効率化され、無駄な走行が削減されることで燃料消費が最適化されている。結果として、運送業務の効率が向上し、環境への負担も軽減されている。この取組は、持続可能な運輸活動を支援し、コスト削減と環境保全の両方に貢献している。



GPS走行軌跡データ

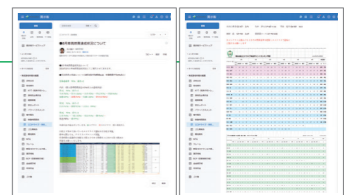
教育の実施

評価ポイント

業務支援ツールの活用による効率的なコミュニケーション

ビジネスチャットツールを活用した社員への情報共有とフィードバックを実施

全従業員を一同に集めることが困難であるため、LINE WORKSを活用して運転指導などの個別対応を行っている。また、kintoneを用いて、指導履歴や情報共有内容などをクラウド上で管理し、各人への伝達が欠漏することを防止。業務支援ツールの導入により、コミュニケーションの効率化と情報共有の精度が向上し、業務効率も大きく改善されている。これによって、遠隔地にいる従業員も含め全員がタイムリーに情報を得られる体制が確立されている。



LINE WORKS

教育の実施

評価ポイント

実例を活用した教育と継続的な学びの提供

専門家からの事故解説

事故発生後に再発防止面談を実施。また、安全教育の一環として毎月実際の事故映像が専門家によって解説され、社員に配信されている。この生きた教材を用いることで、社員は事故の具体的な状況と危険性を深く理解し、安全意識の向上に努めている。実際の事例を通じて得られる洞察は、事故の再発を防ぐための重要な手段となっている。



事故再発防止動画

審査委員長特別賞・優秀賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介



沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：26店舗
 従業員数：969名
 車両数：924台
 活動実績：12年



エコドライブ活動の全国への波及と継続的な取組

2011年のエコ宣言をきっかけに、2012年よりエコドライブ活動をスタート。交通死亡事故ゼロとカーボンニュートラルの達成で沖縄の社会課題解決に貢献することを目指し、エコドライブ活動に取り組む。

社内だけでなく社外にも**波及性の高いエコドライブ活動を積極的に実施**。さらに、以前から開催していたエコドライブコンテストを九州地区の販売店まで拡大させ、エコドライブを県内だけでなく全国へ広げている。

エコドライブ活動の成果

2022年度比
**53.8%燃費向上
 (全車)**
**事故件数43%削減
 (保険適応)**

受賞事業者の声

この度は荣誉ある賞をいただき大変光栄に思っております。従業員とお客様がともにエコドライブを楽しんでくださっていることを評価していただき嬉しく思います。継続することが大事だと考えておりますので、今後もエコドライブ活動を推進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・グループの全社員大会にて、社長よりエコドライブ活動の重要性を発信	推進責任者(社長)を中心に各拠点長を通して全社員での活動を推進し、社内の交通事故撲滅を目指す
	体制・目標		交通事故撲滅
教育の実施	環境問題	・車と地球環境問題に関する資料を作成し、新人研修などで活用	毎年の新入社員研修での参加者名簿や教育資料をデータにて保存
	教育資料	・毎月エコドライブに関する資料を展開し、各部署ごとに従業員への周知	新入社員研修名簿 新入社員教育資料
燃費管理	燃費管理	・燃費王サイトを活用し、各個人のデータを戦略本部にて一括管理	各個人の車両ごとに目標燃費を設定
	燃費目標		○号車 目標燃費 ×号車 目標燃費 △号車 目標燃費
活動成果	燃費向上	・2022年度比で53.8%燃費が向上	2012年より県内で参加者を募り、エコドライブコンテスト「燃費王決定戦」を開催 企業と連携し「スマイルライスプロジェクト」を実施
	事故管理	・2022年度比で43%削減	
継続実績と方策	活動実績	・2012年より活動開始	社有車/試乗車の約6割以上はHEV車・PHEV車・BEV車を採用
	エコカー等		6割以上
	独自工夫	・エコドライブ活動の意識づけのため、エコドライブ強化月間を毎年実施	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

手軽に燃費を登録できる環境づくり

燃費王サイトとLINEを活用した燃費管理

社内における燃費管理の効率化を図るため、燃費王サイトを活用。このサイトとLINE公式アカウントを連携させることで、従業員の入力および管理の手間をできる限り省くことができ、継続しやすい取組を実現。



燃費王サイト

取組体制の整備

評価ポイント

毎月エコドライブを意識させる工夫

全社員向けのエコドライブテーマの発信

毎月、全社員に向けてエコドライブに関する資料を展開。
 継続的なエコドライブの情報提供により、全社員の意識向上に寄与している。
 さらに、エコドライブの意識を高めるために、エコドライブ強化月間を設定し、意識向上に努めている。



エコドライブ資料

燃費王 ～FUN TO ECO DRIVE～

エコドライブを通じて行う社会貢献活動

企業と連携して、エコドライブ活動を実施。
 活動を通じて貯めたポイントを県内のこども食堂などへ寄付できる「スマイルライスプロジェクト」を展開。
 その他、お客さまと社員の貯めたポイントを活用し、メッシュサポート(ドクターヘリ)や交通遺児育成会などへも寄付活動を行っている。
 このような社会的意義のある活動が、社員のエコドライブに対するモチベーションに良い影響を与えている。



スマイルライスプロジェクト

燃費王決定戦の地域拡大

2011年から沖縄県内で開催していた燃費王決定戦を全国へエコドライブを広げるため、2023年に燃費王決定戦九州沖縄大会を開催。九州から25チームが参加。
 九州のトヨタ販売店に「交通死亡事故ゼロ」「カーボンニュートラルへの貢献」を訴求し、エコドライブ活動を全国へ拡大させる第一歩となった。



燃費王決定戦 九州沖縄大会

上位受賞事業者の取組事例紹介



SBS三愛ロジスティクス株式会社 物流センター宮城第二

所在地：宮城県宮城野区扇町7丁目3-33
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：45名
 車両数：14台
 活動実績：9年



しっかりと根付いた教育が、全従業員参画のエコドライブを実現する

環境問題に対する意識の醸成と、自主性を評価する制度により、全従業員が効果的な活動を行う。

エコドライブ意識を統一させる資料を用いた教育を日常的に行い、社員が自由に提案できる「KAIZEN提案」制度を通じて、エコドライブ活動への取組改善を目指す環境が整っており、**自ら参画できることで社員のモチベーション向上に繋がる。**

エコドライブ活動の成果

2015年度比

9.5%燃費向上
(中型ディーゼル車)
無事故達成
(すべての事故)

受賞事業者の声

この度は優秀賞をいただき大変光栄に思います。活動目標を定め目標達成に向けた取組を行えた全社員の地道な努力の結果だと思っております。今回の受賞を励みに更なる高みを目指しエコドライブ活動を推進して参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制	・グループ環境方針に則りエコドライブ活動を事業所全体の取組とする ・統括運行管理者と配車担当者が推進委員として活動	対前年比で全体目標を定めるとともに、拠点ごとの目標計画を立てる
	目標・計画 周知・説明 点検・整備	・社内サイトやドライバーミーティングで指導・共有 ・毎日の点検と定期的なメンテナンスを実施、整備管理者が管理	A 営業所 B 営業所 C 営業所
教育の実施	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録	・環境ポケットブックを作成、全従業員に配布 ・エコドライブ活動年間計画に教育内容を内包 ・グループ独自の教育用マニュアルや教材DVDを作成 ・教育実施記録・添乗指導・認定制度試験など、それぞれ記録	事業部の代表者がトラックメーカーによる研修会に参加、部内に展開
	外部セミナー マイカー教育	・KYT教育で安全運転の意識づけや、省エネ運転・安全運転の意見交換	エコドライブ研修会
燃費管理	燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用	・前年比を基にした燃費目標を車種ごとに定める ・デジタコによる日常記録と集計データ分析による周知記録を保管 ・車両ごとおよび車種ごとに分析、前月と比較 ・エコドライブ項目に沿って乗務後指導を実施	すべての車両別燃費データを保管、社内掲示板に掲載
	過去履歴		燃費比較 燃費比較 燃費比較
活動成果	燃費向上 事故管理	・2015年度比 9.5%向上(中型ディーゼル車) ・事故の概要とかかった費用を記録	成果をメールや社内報、掲示板に掲載
	成果の周知 対外活動 社員評価	・全車両に「エコ・安全ドライブ車」のステッカーを貼付 ・評価を部門ごとに分類しポイントや事例に基づいて表彰	エコドライブランキング
継続実績と方策	活動実績 活動見直し 独自工夫	・2014年から活動開始 ・毎年目標値を定め、中長期的な目標を立てている	KAIZEN提案制度では、他者からの好意的なフィードバック受け取れる
	認証登録 エコカー等	・ISO14001認証 ・デジタコおよび機能付き車両を導入	KAIZEN提案

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施



評価ポイント ドライバー以外も対象とした、エコドライブ意識向上を狙った取組

マイカーのエコドライブ教育

安全運転とエコドライブ教育を並行して実施。KYT(危険予知トレーニング)の中でエコドライブについて考える場を設け、具体的な行動につなげている。
 また、朝礼ではマイカー通勤者が経験した「ヒヤリハット」を共有。この共有事例を基に、社員同士でエコドライブや安全運転に関する意見交換を行い、知識と意識の向上を図っている。



エコドライブと安全運転



教育の実施



評価ポイント 環境配慮の意識付け

環境配慮の意識を醸成する環境ポケットブックによる環境問題の啓発

ドライバーだけでなく全従業員に「環境ポケットブック」を配布し、環境問題に関する知識や目標意識を向上させている。
 さらに、全員が朝礼・昼礼・夕礼で読み合わせをすることで、内容の理解を深めるとともに、環境問題に対する意識を統一させる。継続的な取組により、職場全体で持続可能な社会づくりに貢献。



読み合わせによる意識統一



燃費管理



評価ポイント 定期的な燃費結果の周知と振り返りでエコドライブ意識を向上

毎月のドライバーミーティングで燃費結果の周知徹底

燃費データの記録・管理をドライバーが車両ごとに実施。このデータは定期的に集計・分析され、全社に共有・社員教育にも活用されている。特にドライバーには、毎月開催されるドライバーミーティングで結果を共有。
 毎月の結果共有と振り返りを継続することで、ドライバーの燃費意識を高め、エコドライブの実践に繋げている。



ドライバーミーティング



継続実績と方策



評価ポイント 社員が取組改善を目指すモチベーションにつながる

エコドライブ活動を見直すきっかけとなる「KAIZEN提案」

全社的な改善活動の一環として「KAIZEN提案」制度を設定。この制度により、社内の取組について社員が自由に提案でき、エコドライブを含む環境改善に関するアイデアも積極的に収集されている。
 提案内容は全社員が閲覧・評価可能で、特に評価の高い提案者には、1ポイント=1円として換算された報奨金が支給される。また、提案をもとにした取組で得られたCO₂排出量の削減効果が可視化され、効果の程が一目でわかる。改善提案が評価される環境が、社員のモチベーション向上に繋がる。

事業所	提案者	削減率		削減量	
		削減率	削減量	削減率	削減量
北海道物流部	札幌営業所	78%	0	104%	4
	旭川営業所	82%	0	100%	0
東北物流部	仙台営業所	73%	0	94%	0
	秋田営業所	28%	0	100%	8
関東物流部	山形営業所	115%	8	117%	8
	山形営業所	112%	8	105%	2
中部物流部	岩手営業所	100%	2	99%	0
	福島営業所	89%	0	98%	0
近畿物流部	市内サービス	121%	10	138%	10
	遠征営業所	102%	4	101%	0
本社総務課		98%	0	100%	0

KAIZEN提案によるCO₂削減



F-LINE株式会社 栃木物流センター

所在地：栃木県佐野市伊勢山町1414-1
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：16名
 車両数：12台
 活動実績：24年



ドライバー一人ひとりに焦点を当てつつ、全社で足並みをそろえた取組

2003年よりエコドライブ活動を開始し、とくに一人ひとりに焦点を当て、ドライバーの状況を考慮した取組に注力。ドライブレコーダーを活用した、他ドライバーのヒヤリハット体験の共有や分析、**ドライバーそれぞれの状況を鑑みたアドバイス**を実施。

全社で足並みをそろえて活動に取り組むことができるとともに、ドライバーの意識向上や行動改善に効果的である。

エコドライブ活動の成果

2001年度比

20.6%燃費向上
(大型ディーゼル)
無事故継続
(重大事故)

受賞事業者の声

二度目の優秀賞になりますが、審査結果のフィードバックを前回と比較すると高評価を頂きました。すべてが極めて優秀となるよう今後も継続してエコドライブ活動に取り組んでいきます。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	・栃木物流センターを含む北関東支店のエコドライブ推進体制を整備 ・車種別に燃費目標値を設定 ・昨年度実績および燃費目標値を事業所内に掲示 ・整備管理者を選任し、点検整備を実施	環境負担低減の取組を推進し、HPIにSDGsの取り組みについて掲載
	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録	外部セミナー マイカー教育	・環境方針と倫理行動規範にて環境問題や環境への配慮について啓発 ・年間教育計画を策定 ・公的機関発行の点検整備やエコドライブのテキストを活用 ・教習所指導員による同乗研修指導員の養成 ・乗用車用エコドライブテキストを使った学習を実施	Google フォームを活用した理解度チェックと管理・分析の実施
燃費管理	燃費目標 燃費管理 燃費分析	燃費向上	・積載量別で年間目標を設定。他センターの目標・結果と合わせて掲示 ・車両別で給油毎の燃費を管理、月間でまとめる ・月毎の車種別燃費の推移を分析	燃費結果と運転状況を比較できるランキング表を掲示
	教育活用 過去履歴	燃費向上	・2001年より年次推移の記録を管理	事故の種別ごとに発生件数を管理
活動成果	事故管理	燃費向上	・2003年度比で、19.3%燃費向上(大型ディーゼル)	事故の種別ごとに発生件数を管理
	成果の周知 対外活動 社員評価	燃費向上	・期毎の燃費推移を社内に掲示 ・車両後部へエコドライブステッカーを貼付 ・2019年度よりドライビングコンテストを開催	年に2回、エコドライブキャンペーンを実施
継続実績と方策	活動実績 活動見直し 独自工夫	燃費向上	・2003年より活動開始 ・年に1度、取組の振り返りとレビューを行い今後の目標を決定	エコドライブキャンペーン
	認証登録 エコカー等	燃費向上	・エコタイヤやエコヒーター等、複数のエコドライブ支援機器を活用	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

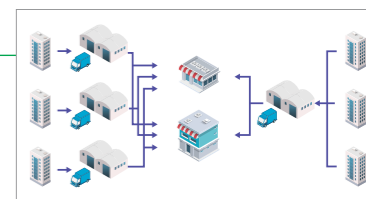
評価ポイント

複数の社会課題解決に向けた取組

メーカーと推進する共同配送

食品メーカーと連携し、共同配送の取組を推進。このプロジェクトでは、輸送効率の向上やCO₂排出量の削減を目指し、環境問題への貢献に加え、物流業界が直面する2024年問題の解決にも寄与することを目指す。

効率的な物流ネットワークの構築を通じて、持続可能な社会の実現に向けた課題に取り組むとともに、業界全体の競争力強化にもつなげていく。



共同配送

活動成果

評価ポイント

競争意識を刺激するエコドライブイベント

北関東支店4センターとの合同エコドライブキャンペーン

社員同士の競争意識を高めることで、運転技術や環境意識の向上を図ることを目的に、4センター合同でエコドライブキャンペーンを実施。1か月にわたり燃料消費量、E&S波乗指数、アイドリングの3項目で各チームおよび個人間で競争し、優秀者およびチームにはクオカードを贈呈。

さらに、データを活用した評価により具体的な改善点を明確化し、各支店の連携強化を通じて全体の効率化と環境負荷の低減に寄与することを目指す。



4センター合同エコドライブキャンペーン

継続実績と方策

評価ポイント

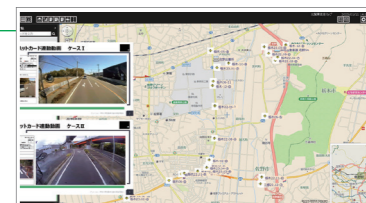
他ドライバーのヒヤリハット体験から学ぶ対処法

ドライブレコーダーを活用したエコドライブ教育

ドライブレコーダーやヒヤリハット動画を活用し、危険運転の共有を行うとともに、危険箇所や運転行動を5W1Hで分析し、KYTシートを作成する取組を実施。

さらに、マップにヒヤリ地点を登録し、4センターで共有することで、ドライバー全員に注意喚起。

本取組を通じて、エコドライブ意識の向上を促すだけでなく、事故リスクの低減と安全な運行体制を確立。



北関東支店ヒヤリハットマップ

継続実績と方策

評価ポイント

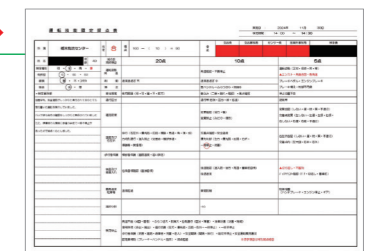
運転行動の改善に効果的な個別指導

ドライバーそれぞれの状況を鑑みたアドバイス

運転評価が低いドライバーや連続して減点が見られるドライバーに対して、専門委員による添乗指導を実施。

この指導では、個別にドライバーの運転を観察することで、癖や課題を把握し、個々の状況に応じた具体的かつ実践しやすいアドバイスにつなげることを目的としている。

ドライバーそれぞれの状況を鑑みたアドバイスを行うことで、課題を具体的に理解しやすくなり、運転行動の改善につながっている。



添乗指導のフィードバック



石原運輸株式会社

所在地：栃木県下野市下古山3322-4
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：35名
 車両数：34台
 活動実績：19年



エコと安全の両立を目指したハイブリッドアプローチ

2006年よりエコドライブ活動を開始し、2007年にグリーン経営認証を取得。
 動態管理システムを活用することで、危険運転の防止やアイドリングストップの徹底など、エコと安全の両立を目指した取組に注力。さらに、**動態管理システムの危険運転警告**と、警告を受けた管理者からドライバーへのリアルタイムでの注意喚起など、ツールと人力を組み合わせたハイブリッドアプローチを採用。
 より効果的かつ効率的に取り組むことができるエコドライブ活動を実践している。

エコドライブ活動の成果

2006年度比
21%燃費向上
(大型ディーゼル)
無事故継続
(重大事故)

受賞事業者の声

この度は、優秀賞を受賞させていただきありがとうございます。
 10数年に亘り、エコドライブ活動に取り組んで来た結果が、優秀賞という形になりさらなるエコドライブ活動へのモチベーションとなりました。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・当事業者のHPIに環境方針を掲載	代表取締役を責任者に据えた環境保全活動推進体制の構築 環境保全活動推進体制
	組織・体制		
教育の実施	目標・計画	・毎月の活動目標や計画を事前設定	外部セミナーへ全社員が順番に参加できるように参加状況を管理 エコドライブセミナー参加状況 社員A ○ 社員B ○ 社員C ○
	周知・説明	・月に1度の会議にて改善目標を全員に説明	
燃費管理	点検・整備	・整備管理者を定めた管理体制	前年比と目標値を、ドライバーが毎日確認できる場所に掲示 前年比 目標値
	環境問題	・全日本トラック協会などのポスターを社内に掲示	
活動成果	教育計画	・次年度の教育でピックアップするテーマを事前設定	事故と配送中のトラブルを管理、件数の増減を把握 事故 トラブル
	教育資料	・毎月エコドライブ推進手帳を活用し教育を実施	
継続実績と方策	教育記録	・議事録を教育記録として管理	環境優良車やアイドリングストップ機能付き車両を積極的に導入
	外部セミナー		
	マイカー教育		
	燃費目標	・5年前からの実績とともに本年度目標も掲示	
	燃費管理	・車両ごとに毎月燃費をまとめ結果と目標を全体へ周知	
	燃費分析	・月間および年間の運転評価をグラフにし点呼台前に掲示	
	教育活用	・活動開始から現在までの燃費データを管理	
	燃費向上	・2006年度比で、21%燃費向上(大型ディーゼル車)	
	事故管理		
	成果の周知	・毎月の会議で事故・燃費の結果を展開	
	対外活動	・グループ会社へ活動報告を提出、同業他社の活動(燃費など)を参考に	
	社員評価	・運転評価制度を月間・年間でグラフ化、点呼台前に掲示	
	活動実績	・2006年より活動開始	
	活動見直し	・年度末に振り返りと来年度に向けた目標の見直し	
	独自工夫	・ドラレコによる走行パトロールを実施	
	認証登録	・グリーン経営認証を取得、Gマーク、ISO39001	
	エコカー等		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備 | 評価ポイント: 動態管理システムによる運転情報の管理・指導

危険運転による事故を防ぎ、エコドライブを根付かせる取組

動態管理システムを活用し、危険情報を管理者がリアルタイムでドライバーの運転行動を把握できる仕組みを構築。
 規定値を超えた場合には、即座に車庫からドライバーへ注意喚起が行われることもあり、危険運転による事故を未然に防ぐとともに、自身の運転行動をその場で認識、改善するきっかけともなうねらい。
 この取組を継続した結果、ドライバーの意識改革や運転行動の改善につながっている。



動態管理システム

活動成果 | 評価ポイント: ドライバーの状況を鑑みたアイドリングストップ指導

燃費以外で行うドライバー評価

運行中に5分以上のアイドリングが発生した場合、該当ドライバーへヒアリングを実施。
 エンジンも切っても身体に危険が生じないと判断された場合は、アイドリングストップを徹底するよう指導を行っている。
 また、月間のアイドリング合計時間の全社共有・掲示も行っており、ドライバーの意識向上とアイドリングの削減を目指している。



アイドリング結果一覧

教育の実施 | 評価ポイント: 教育間隔を短くすることでエコドライブの定着を目指す

高い頻度でエコドライブ教育を実施

以前は年に数回の実施に留まっていたが、安全衛生環境会議の中で頻度を増やすため、エコドライブ教育、車両の整備点検教育を毎月実施に変更。
 本会議では目標周知や事故報告、教育資料などを活用したエコドライブ教育および技術教育を実施。
 開催頻度を高め教育回数を増やすことにより、ドライバーの意識向上を図り、日常的なエコドライブの定着を目指すねらい。



安全衛生環境会議

教育の実施 | 評価ポイント: 添乗教育、ドライブレコーダーによるエコドライブ指導

運転を振り返るきっかけとなる添乗指導

管理者がドライバーの車に添乗し、運転技術やエコドライブの指導を行う取り組みを実施。
 ドライブレコーダーによる指導では、複数人で動画をみることで当事者だけでなく他のドライバーの方法や意見を交換することで、双方にエコドライブ・安全運転に対する気付きが得られる効果をねらう。
 世代を超えて社内間で知識と技術を共有することで、エコ・安全・社内活性化に効率的に取り組むことができる。



添乗指導



西濃運輸株式会社

所在地：岐阜県大垣市田口町1番地
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：168
 従業員数：16,123名
 車両数：13,094台
 活動実績：18年



さらなるエコドライブ活動の進化と全社的な取組強化

2006年からエコドライブ活動をスタート。2012年より燃費向上と事故削減を目標とする「エコ安全ドライブ」活動にリニューアルし、今年で18年目に突入。

さらなる燃費向上と事故削減を目指し、有効な取組を全社に共有する「モデル店所制度」など、会社全体のエコ安全ドライブ活動のレベルアップを目的とした取組を実践。

エコドライブ活動の成果

2006年度比
**18%燃費向上
 (大型車)**
**事故件数71%削減
 (重大事故)**

受賞事業者の声

この度は「優秀賞」をいただきありがとうございます。これは私たちの使命である「輸送立国」の基、従業員一人ひとりがエコ安全ドライブ活動をひたむきに実践した結果だと思っています。今後も社員一丸となり取り組んで参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	「エコドライブ＝安全運転」としてエコ安全ドライブを推進	全体取り組みの目標および、各店所、個車ごとの目標を社内イントラネットにて共有
	組織・体制	エリア統括マネージャーおよび各店所長が責任者としてエコドライブを推進	
教育の実施	目標・計画	全国店所長会議において、年度基本政策としての定量的な目標と計画を発表	研修での受講内容を各自店所に持ち帰り水平展開
	周知・説明		
燃費管理	点検・整備	各乗務員の日常点検および、各店所駐在の工務課による定期点検を実施	専用の携帯端末を使用し、乗務員自ら燃費データを入力
	環境問題	地球環境問題に関する啓発として全車両に「COOL CHOICE」[エコ安全宣言車]ステッカーを貼付	
活動成果	教育計画		事故と燃費の相関チャートを作成し、データ分析に活用
	教育資料	自社のオリジナル資料を作成し、「カルちゃんのサステナビリティレポート」を発行	
継続実績と方策	教育記録	教育実施記録を安全指導部および各エリアのインストラクターと共有し、保管	ドライバーが見える位置に「エコ安全ドライブ5か条」のステッカーを貼付
	外部セミナー	日野自動車「エコ安全講習」を受講	
燃費管理	マイカー教育	「通勤もエコ安全」と題したマイカーのエコドライブについて、社内ポスターにて啓発	燃費向上
	燃費目標	年度の最初に目標燃費を設定し、取組内容とともに全社に共有	
活動成果	燃費分析	毎月エコ安全ドライブ推進委員会にて、燃費データの分析を実施	成果の周知
	教育活用	燃費実績とデジタコ結果をあわせて個別点呼時にフィードバック	
活動成果	過去履歴	活動開始時からの全燃費データを保管	対外活動
	燃費向上	2006年度比で18%燃費向上(大型車)	
活動成果	事故管理		社員評価
	成果の周知	毎月分析後、社内イントラネットにて全社に発信・共有	
活動成果	対外活動	「令和4年度 省エネルギー推進シンポジウム」にて講演	活動実績
	社員評価	前年同月との燃費比較で伸長率が最も高いドライバーを表彰	
活動実績	活動実績	2006年4月より活動開始	活動見直し
	活動見直し	年度末に状況と反省を踏まえ、活動目標・計画を見直し	
継続実績と方策	認証登録	2002年よりISO14001を取得	独自工夫
	エコカー等	ハイブリッド車に加え、FCV車(16台)、EV車(24台)を導入	

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施



評価ポイント

安全推進活動を計画的・継続的に実施し、安全風土を醸成

安全推進インストラクター制度

2016年から「安全推進インストラクター制度」を導入し、ドライバーコンテスト全国大会出場経験者などが資格を得て指導を実施。高スキルのインストラクターを増やすことで、レベルの高いドライバー教育と「真のプロドライバー」の育成を目指す。

また、「全国トラックドライバー・コンテスト」において2年連続で内閣総理大臣賞を受賞し、ドライバーの励みとなっている。



エコ安全ドライブ研修



取組体制の整備



評価ポイント

部署を横断する形で委員会を毎月開催

エコ安全ドライブ推進委員会の設置

会社全体で取り組むため、総務部、安全推進部、輸送品質部、運行部より横断的に選出されたメンバーで構成された「エコ安全ドライブ推進委員会」が活動を牽引。

当該委員会では、年間目標を設定するとともに前月度結果の分析を行い、各店所および店所を統括するエリアとデータを共有しながら、PDC(B)Aサイクル*を回している。

*さらに具体的な要因を深堀りすること(Because)をPDCAサイクルに加えた、グループ独自のサイクル



エコ安全ドライブ推進委員会



継続実績と方策



評価ポイント

好事例を全社に共有する「モデル店」制度

有効な取組情報を全店舗へ展開

燃費目標達成に向けた取組を全社に共有するモデル店所を、四半期ごとに各エリアより1店所選出。選ばれた店所は目標達成を目指して3か月間エコ安全ドライブ活動にさらに注力。毎月エコ安全ドライブ推進委員会に報告書を提出させ、モデル店での有効な取組情報を収集している。

モデル店で有効な取組であった燃料ハンディターミナルに前年同月の燃費が表示される仕組みを全社に導入し、燃費意識の向上につながっている。



好事例の展開



継続実績と方策

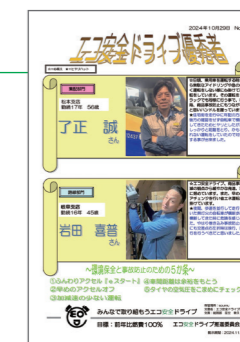


評価ポイント

社内外に周知することでモチベーションアップ

優秀なドライバー表彰

毎月、前年同月との燃費比較で伸長率が最も高いドライバー(セールスドライバー、路線乗務社員から1名ずつ)を「エコ安全ドライブ優秀者」としてポスターを作成し、社内イントラネットで全従業員へ紹介。掲載されたドライバーはさらなるモチベーションアップに繋がっている。



エコ安全ドライブ優秀者



さいたま市役所

所在地：埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-4
 業務内容：行政機関
 拠点数：15
 従業員数：16,315名
 車両数：707台
 活動実績：16年



庁内外にエコドライブを波及させる堅実な活動

市役所が主体となって地域のエコドライブを推進。公用車へのエコカーの導入や燃費改善を積極的に行う他、職員への教育やマイカーでのエコドライブ推奨など、庁内の体制を整える。
公的機関である強みを生かし、イベントへの出展やセミナーの主催など、市内にとどまらず市外・県外を巻き込んだ活動を行っている。

エコドライブ活動の成果

2006年度比

26%燃費向上
 (HV車2000CC以下)
事故件数40%削減
 (重大事故)

受賞事業者の声

本市の長年の取組を「優秀賞」として評価していただき、ありがとうございます。今回の受賞は今後の活動の大きな励みとなります。環境負荷の低減や交通安全のため、今後も地球に優しい運転「エコドライブ」の実践、普及啓発に努めてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・職員の率先行動として「エコドライブ取組方針」に基づきエコドライブを実施	職員のエコドライブ 実施率100%に向け公用車の燃費を管理
	体制・目標		燃費管理
教育の実施	点検・整備	・公用車運用の手引きを定め、公用車を使用することに日常点検表により点検を実施	エコドライブ実技実習で職員の習慣化を図る
	環境問題	・スマイルドライビングニュースでエコドライブ啓発	エコドライブ実技実習
燃費管理	教育資料	・エコドライブ取組方針・実施要領を定め、職員に周知	公用車を所管する各課所が走行距離や給油量を記録した運行記録表を毎月提出、データ集計を行い市内の燃費やCO ₂ 排出量を算出している
	教育実施		運行記録表
活動成果	燃費目標	・エコドライブ取組方針に基づき、2025年度末までに走行距離あたりのCO ₂ 排出量2006年度比35%削減を掲げる	事故内容ごとに集計し推移を把握
	燃費向上	・2006年度比26% 向上(HV2000cc以下)	事故A 事故B 事故C
継続実績と方策	事故管理		九都県市で連携しセミナーを実施、デジタルサイネージへの掲載
	対外活動	・イベント出展やセミナーの主催で市民や事業者への啓発を実施	九都県市 エコドライブ セミナー
	活動実績	・2008年にエコドライブ取組方針を策定し、エコドライブの全庁的な取り組みをスタート	
	エコカー等	・電気自動車普及施策「E-KIZUNA Project」に取り組み、公用車を新規に導入する際は原則として次世代自動車としている	
	独自工夫		

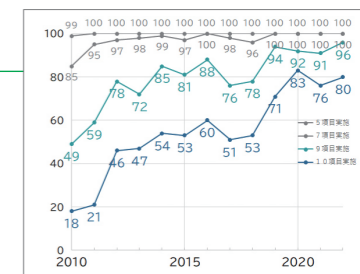
エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント エコドライブの地盤を堅実に固める

公用車の運転をエコドライブに

市役所全体でエコドライブを推進し、緊急車両を除くすべての公用車の走行実績と燃費消費量を把握。
 また、職員の「エコドライブ10のすすめ」全項目の実施率100%達成を目指している。職員向けにはエコドライブ教習も実施しており、持続可能な運転習慣を目指す。



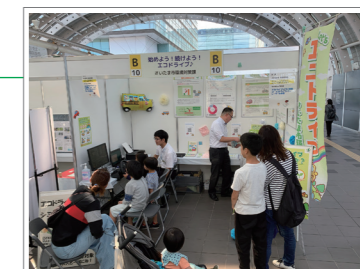
エコドライブ10のすすめ実施率

教育の実施

評価ポイント 公的機関の強みを生かした情報発信

市民と共に進めるエコドライブ活動

市内のイベントに積極的に出展し、訪れた市民にシミュレーターを使ったエコドライブを体験してもらうことで、エコドライブの輪を広げる。
 また、園児と共にエコドライブの啓発を実施し、世代を超えて環境問題に対する意識の向上を図る。



イベントでの啓発

継続実績と方策

評価ポイント 九都県市での連携や情報の収集

県を跨ぐエコドライブの啓発

九都県市で広域的に大気汚染対策に取り組むため大気保全専門部会を設置し、エコドライブを推進。
 エコドライブ活動コンクール大臣賞受賞者を講師に招いた九都県市エコドライブセミナーを開催することで、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県に啓発を行う。



九都県市エコドライブセミナー

継続実績と方策

評価ポイント 定期的なエコドライブの意識づけ

庁内での徹底した意識醸成

毎月22日を独自に「エコドライブの日」と定め、職員向けにエコドライブを啓発する機関紙を発行。他にも庁内電子掲示板での啓発やのぼり旗の設置を行う。
 また、オリジナルグッズとしてステッカーやキーホルダーを展開・配布しており、より身近なものとしてエコドライブ活動を啓発している。



キーホルダーの配布

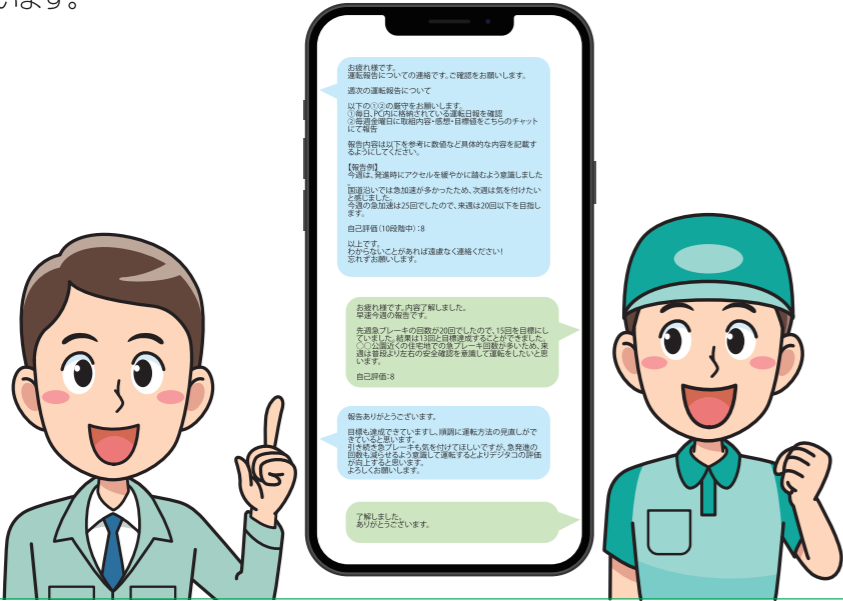
エコドライブ活動の応用取組「活動成果」のイメージ

① デジタル化によるドライバー教育の進化とその効果

ドライバーへの教育方法はデジタル技術の活用によって年々変化してきました。アプリケーションやオンラインプラットフォームなどのデジタルツールの導入により、リアルタイムでのフィードバックや対話を通じた学習、運転シミュレーションを用いたドライブ技術の向上などが実現しています。

さらに、より効率的に効果のある学習を組み込むため、GPSとデータ分析技術を活用した、個々の運転データ分析に基づいた教育を行うなどドライバーごとにカスタマイズされたエコドライブ教育を行う事業者も多く見られています。このような学習はこれまでイベント的に一回限りで実施されることはありませんでしたが、徐々に継続的に行う通常教育にも組み込まれるようになりました。

このような変化は、エコドライブ技術の向上だけでなく、ドライバーのエコドライブ意識の向上につながっています。



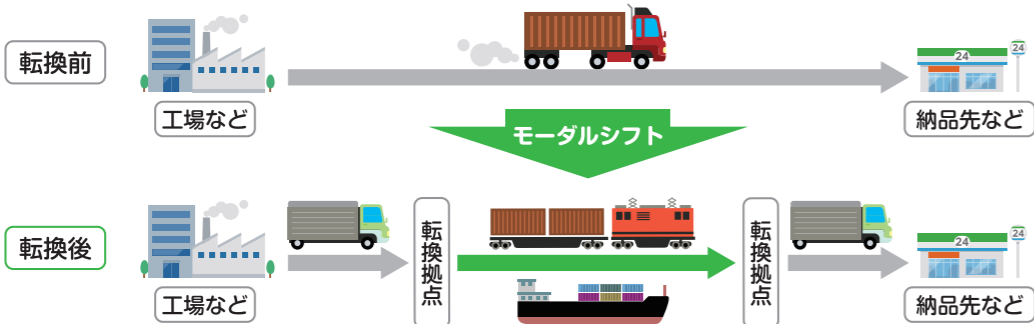
② 持続可能な社会を目指すエコドライブ活動

近年のエコドライブ活動は、地球環境の保全はもちろんのこと、企業の社会的責任（CSR）の観点から顧客や社会の信頼を得るための重要な要素にもなっています。

とくにモーダルシフトの推進やEV（電気自動車）の積極的な導入、非化石燃料の試験的利用などの取組は社会関心も高く、今後の発展が強く期待されている分野でもあります。

導入コストが高額であるという問題点はありますが、補助金などを活用し積極的に活動に組み込む事業者も多く見られるようになりました。

こうした取組は、企業の持続可能な成長戦略として、ますます重要性を増していくと考えられます。



上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介 （都道府県順）

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例を紹介します。

▶ 洗浄機器の導入

事業部門 優良認定証

株式会社タムラ

汚れることで燃焼効率の低下につながる、フューエルシステムやエアインテークを自社内でクリーニングできる専用機器を導入。
 自社内で洗浄できるため、専門機関に依頼するより頻繁にクリーニングでき、エンジンの燃焼効率が向上。
 車両の性能維持と、それによる燃費向上など、運用コストの削減にもつながっている。

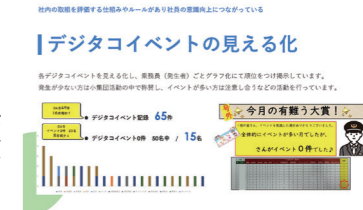


▶ デジタコイベントの見える化

事業部門

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 埼玉車庫

デジタコで発生した急加減速やアイドリングなどのイベントをそれぞれドライバーごとにグラフ化。
 イベント発生回数や内容を可視化し、順位を掲示することで、結果を見たドライバー同士で教え合いが行われたりするなど、コミュニケーションの発生源となっている。



▶ VR教育システムの導入

事業部門

エムケー物流株式会社 藤岡本社

ドライバーの教育ツールとして、VRゴーグルを用いたトラックの疑似体験システムを2024年5月から導入。
 月に1度の法令12項目の周知確認やヒヤリハットの体験など、VRを導入することで、実体験に近い形で教育を実施。導入したことにより、教育にかかる時間的コストの削減につながっている。また、導入以降の交通事故発生件数も大幅に減少している。



▶ RD燃料トラック輸送開始

事業部門 優良認定証

今井運送株式会社

脱炭素の一環として、廃食用油などのバイオマス由来のリニューアブルディーゼル（RD）燃料を使用したトラック輸送を開始。
 中四国地方初の取組として、中国新聞社に取り上げられた他、ジャパントラックショーにて取組紹介を行うなど先駆けとなった。今後、段階的に台数を増やしていく。



▶ ドライバーの運転の癖を整理

事業部門 優良認定証

花王ロジスティクス株式会社 広島営業所

各ドライバーの運転中の癖や注意すべきポイントを記載した「ドライバー手帳」を活用。
 出発前の点呼時に手帳を確認し、各自が自分の課題や注意事項を再認識することで、安全運転の意識を高めている。
 日常業務での事故防止や運転行動の改善につながり、エコドライブ意識向上に寄与している。

